



『軽筆鳥羽車』

## けいひつ と ばくろま 『軽筆鳥羽車』

千葉市美術館蔵

大坂を中心に人気を博した鳥羽絵本のうちのひとつ。様々なことわざを題材としており、本図には魚の頭をありがたそうに拝む人々が描かれる。大きな口、細長い手足などに鳥羽絵の特徴がよくあらわれている。

## 滑稽浪花名所 住吉 一鶯斎芳梅

和泉市久保惣記念美術館蔵

幕末になると、江戸・京・大坂などの名所を背景とした戯画が描かれた。「滑稽浪花名所」は、大坂の名所を舞台としたドタバタ劇を描いたシリーズ。本図では、住吉大社の太鼓橋から豪快に転げ落ちる男が描かれる。芳梅は国芳の門人。※4/17~5/13展示



滑稽浪花名所 住吉 一鶯斎芳梅

## 『北斎漫画』九編 葛飾北斎

浦上満氏蔵

北斎が描いた絵手本として有名な『北斎漫画』にも戯画的な要素が多く含まれている。太った男が出陣の準備をしている様子を描いた本図からは、ほのぼのとした面白さが伝わってくる。北斎のユーモアの感覚がよくあらわれた図である。

## ふうりゅうかわずだいがっせん の す 風流蛙大合戦之図 河鍋暁斎

河鍋暁斎記念美術館蔵

幕末から明治にかけて活躍した暁斎も戯画を多く手掛けた絵師の一人。徳川幕府による長州征伐の見立てとされる本図だが、擬人化された蛙たちの姿はなんともユーモラスである。「鳥獣人物戯画」や国芳などからの影響も感じられる。※5/29~6/10展示

## 地獄図巻 耳鳥齋

大阪歴史博物館蔵

耳鳥齋は、18世紀後半の大坂を中心に活躍した絵師で独特な画風が人気を博した。「地獄図巻」は代表作の一つで、串に刺されて焼かれる川魚屋など、現世での職業に応じて様々な地獄に落ちた亡者たちがコミカルに描かれている。



地獄図巻 耳鳥齋



『北斎漫画』九編 葛飾北斎



風流蛙大合戦之図 河鍋暁斎

### ●講演会

4月28日(土)

「鳥羽絵から北斎・国芳・暁斎へ」  
秋田達也(大阪市立美術館主任学芸員)

◆時間:各日とも午後2時~3時30分

◆定員:150名

5月19日(土)

「エッ、笑える絵って!? 絵を見て笑うということ」  
田沢裕賀(東京国立博物館学芸研究部長)

◆会場:大阪市立美術館1階講演会室

※申込み不要、先着順、聴講無料、ただし当日の本展観覧券が必要です。

## 学芸員のおススメコレクション

### 大阪新美術館建設準備室 ゆるくカワイイ、仙厓さんの禅画

2021年度のオープンに向けて準備を進める大阪市の新しい美術館。モダンアートを中心とする所蔵品のなかで、山本發次郎墨蹟コレクションは特色のある分野です。臨済宗の禅僧・仙厓が描いた太鼓腹の布袋は両腕を上げて大きく口を開け、「あくび布袋」の図像と同じポーズをとります。仙厓は福岡の禅寺から隠居すると、それまでの正統的な作風を離れ、軽くやわらかい筆致で自由に伸び伸びと描くようになりました。見る人はクスッと笑いながら、禅の教えを素直な心で受け入れたのでしょう。現代人にも通じる仙厓の魅力は近年再評価されています。

(大阪新美術館建設準備室研究副主幹 小川知子)

※この作品は、大阪市立美術館で5月15日(火)から6月10日(日)まで開催される予定のコレクション展「江戸禅僧の戯画」で展示されます。展覧会に関する情報は大阪市立美術館へお問い合わせください。



仙厓義梵(せんがいぎぼん)「布袋画賛」(ほていがさん) 大阪新美術館建設準備室蔵

大阪市立美術館 ●TEL 06-6771-4874 (大阪市立美術館) ●FAX 06-6771-4856 (大阪市立美術館) ●アクセス 天王寺駅より北西へ約400m(天王寺公園内)  
●ホームページ <http://www.city.osaka.lg.jp/contents/wdu120/artrip/> (大阪新美術館建設準備室)、<http://www.osaka-art-museum.jp/> (大阪市立美術館)

大阪市立の博物館・美術館・動物園  
Osaka Museums  
<http://www.ocmo.jp/museums/>



大阪市立科学館 大阪市立美術館 天王寺動物園 大阪城天守閣  
大阪市立東洋陶磁美術館 大阪歴史博物館 大阪新美術館建設準備室  
大阪市立自然史博物館 大阪くらしの今昔館 大阪文化財研究所